

# プラスチック再資源化事業者の紹介



石川県では、プラスチック資源循環を推進するため、県内の事業者に対しアドバイザーを派遣し、廃プラスチック類の排出抑制やリサイクルに係る助言を行うとともに、再資源化事業者とのマッチングを行うなどの支援をしてきました。その中で、本事業にご協力いただいた再資源化事業者の一部についてご紹介いたします。

事例 01

## R&R

石川県金沢市才田町マ162の2

R&Rでは、プラスチック製品の製造工程で生じる端材や、プラスチック製の梱包材などの買取、リサイクルなどを行っています。また、そのままではリサイクルできないものであっても、関連会

社である株式会社ニュージャパン（産業廃棄物処分業許可業者）で産業廃棄物の処理として受け入れ、選別などを行った後、R&Rにおいてリサイクルを行っています。

R&Rでは、ポリエチレンやポリプロピレンなどの汎用素材から、工業用に使用されるエンジニアリングプラスチックなど、さまざまな素材を取り扱っています。

### R&Rで引き取ったプラスチックのリサイクル工程の一例をご紹介します。



廃プラスチックには様々な種類があります。ここでは例として「成型不良品」と「ランナー」を紹介します。



プラスチックの塊を砕いて小さくします。中が空洞になっている場合、この工程で体積はかなり減少し、運搬も容易になります。



粉碎加工されたプラスチックは押出機に入れられ、ひも状の樹脂に加工されます。そして冷却バスを通りペレタイザーという機械に引込み、米粒状にカットされます。この米粒状の樹脂がいわゆるペレットといわれるものです。



再生されたプラスチック原材料は、再度製品を製造する業者の手に移り、リサイクル製品を製造するために使用されます。樹脂原料は混合が可能のため、一級品とリサイクル品を適度な割合で混合する事で、製品に必要な強度等を落とすことなく資源の効率的な利用が促進されます。

問い合わせ先

TEL : 076-218-6565

事例 02

## グリーン・ゲート株式会社白山工場

石川県白山市湊町井1番地21

グリーン・ゲート株式会社は産業廃棄物処分業の許可を有しており、プラスチック製品の製造工程で生じた端材や使用済みの建設資材などのリサイクルを行っています。

同社はポリエステルを中心にリサイクルを行っています。リサイクルが難しい防災処理や撥水处理、染色などの加工が施されたポリエステル繊維のリサイクルを得意としています。ポリエステル端材を破砕・溶融し、ペレット化することにより、土木用資材や綿製品などへのマテリアルリサイクルを実現しています。

### ペレット化工程



ポリエステル端材の破砕



溶融



冷却・引き伸ばし



切断・ペレット化



ペレット

問い合わせ先

TEL : 076-278-8810

原料（廃棄物）調達

当社保有技術による製品化

販売（用途）

廃漁網、エアバッグ  
端材、残糸など



独自技術による前処理

環境に配慮した  
独自の前処理工程

押し出し工程



ペレタイズ



コンパウンド



アパレル素材  
自動車・バイク部品  
オフィス家具など

Made from fishnet  
**REAMIDE**



REAMIDE®  
資料



パンフレット



SPEC

LCA(Life Cycle Assessment)

漁網由来REAMIDE®とバージンナイロンのCO2排出量比較



※バージンナイロンのCO2排出量は各社データを参考に当社算出

問合わせ先

素材ビジネス部  
TEL: 03-6281-4875 (代表)



静岡県御前崎市に位置する株式会社プラニックは、フランスの環境サービス大手のヴェオリアグループ、豊田通商、自動車向けプラスチック部品製造の小島産業の3者による共同出資会社です。自動車リサイクル法や家電リサイクル法により、鉄・非鉄金属が回収された後のミックスプラスチックをはじめ、硬質プラスチックの材料リサイクルを行っています。



●プラニックの全景

4種類の比重の異なる液体を用いた比重選別技術は世界的にも珍しく、これまで日本国内では難しかった高品質の再生プラスチックを生産することができます。廃プラスチック類の排出量のうちで最も多いものは、袋や容器などの薄く柔らかい軟質プラスチックですが、プラニックでは主に製品に使用されている硬質のプラスチックを買取り、選別を行い、PP、PE、PS、ABSを回収します。

選別後のペレットは、従来のようなプラスチックパレット、雨水貯留槽だけでなく、自動車部品、家電部品の原材料として使用されます。海外への輸出に依存していないため、安定的な受け入れが期待されます。

これまで熱回収をしてきたプラスチックであっても、硬質の

プラスチックを分別することで、プラニックが購入できる可能性があります。事前に細かく粉砕(プラニックの希望は100mm以下)したほうが輸送効率は高まりますし、プラニックでも扱いやすいため、評価も高くなります。

マテリアルリサイクルを推進するための一つの有力な方法として検討されてはいかがでしょうか？



●粉砕前の物の例



●粉砕後の物の例



再生プラスチックのペレット

問合わせ先

TEL: 0548-63-5309 (代表)  
Mail: web@planic.jp

